

2 火災の概要

(1) 概 要

令和2年中における火災の概況は、出火件数607件、これらの火災による被害は、損害額24億8,562万8千円、死者26人、負傷者86人、焼損棟数514棟、建物焼損床面積25,591㎡、同表面積2,007㎡、林野焼損面積186a、り災世帯数295世帯、り災人員709人となっている。(表2-1)

○ 表2-1 令和2年中の火災の概況

区 分		令和2年	令和元年	増減数	増減率	
		(A)	(B)	(C)=A-B	(C/B*100)	
出火件数	建物火災	316件	318件	△2件	△0.6%	
	林野火災	24件	24件	0件	0.0%	
	車両火災	56件	60件	△4件	△6.7%	
	船舶火災	0件	0件	0件	0.0%	
	その他火災	211件	222件	△11件	△5.0%	
	計	607件	624件	△17件	△2.7%	
焼損棟数	全焼	160棟	143棟	17棟	11.9%	
	半焼	26棟	24棟	2棟	8.3%	
	部分焼	146棟	111棟	35棟	31.5%	
	ぼや	182棟	218棟	△36棟	△16.5%	
	計	514棟	496棟	18棟	3.6%	
焼損面積	建物	床面積	25,591㎡	20,558㎡	5,033㎡	24.5%
		表面積	2,007㎡	999㎡	1,008㎡	100.9%
	林野	186a	392a	△206a	△52.6%	
死 者		26人	19人	7人	36.8%	
負 傷 者		86人	80人	6人	7.5%	
り災世帯	全 損	81世帯	56世帯	25世帯	44.6%	
	小 半 損	214世帯	183世帯	31世帯	16.9%	
	計	295世帯	239世帯	56世帯	23.4%	
り 災 人 員		709人	613人	96人	15.7%	
火災損害額	建物火災	建物	1,502,525千円	731,742千円	770,783千円	105.3%
		収容物	930,921千円	335,379千円	595,542千円	177.6%
		計	2,433,446千円	1,067,121千円	1,366,325千円	128.0%
	林野火災	0千円	261千円	△261千円	△100.0%	
	車両火災	40,292千円	55,520千円	△15,228千円	△27.4%	
	船舶火災	0千円	0千円	0千円	0.0%	
	その他火災	10,136千円	13,921千円	△3,785千円	△27.2%	
	爆 発	1,754千円	0千円	1,754千円	0.0%	
	合 計	2,485,628千円	1,136,823千円	1,348,805千円	118.6%	
出火率 (人口1万人あたりの出火件数)		3.07件	3.14件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数が17件(△2.7%)の減少となっており、火災種別ごとに見ると、建物火災が2件(△0.6%)、車両火災が4件(△6.7%)及びその他火災が11件(△5.0%)減少した。林野火災、船舶火災は増減なし。

損害額を前年と比べると、総額が13億4,880万円5千円(118.6%)増加している。火災種別ごとに見ると、建物火災が13億6,632万5千円(128%)及び爆発が175万円4千円増加し、林野火災が26万1千円、車両火災が1,522万8千円(△27.4%)及びその他火災が378万5千円(△27.2%)減少した。

次に、令和2年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数1.7件、損害額680万9千円、建物焼損棟数1.4棟、建物焼損床面積70.1㎡、建物焼損表面積5.5㎡、林野火災面積0.5aとなっている。(表2-2)

○ 表2-2 1日あたりの火災による損害

区分	単位	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減数 (A-B)
出火件数	件	1.7	1.7	0.0
損害額	千円	6,809.9	3,114.6	3,695.3
建物焼損棟数	棟	1.4	1.4	0.0
建物焼損床面積	㎡	70.1	56.3	13.8
建物焼損表面積	㎡	5.5	2.7	2.8
林野焼損面積	a	0.5	1.1	△0.6

(2) 出火件数

ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比52.0%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災(堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災(原野・牧野・天然林・人工林の火災)の順となっている。

前年構成比と比べると、建物火災及び林野火災が増加し、車両火災及びその他火災が減少した。(表2-3)

○ 表2-3 火災種別出火件数の構成比

	令和2年		令和元年	
	出火件数 (件)	構成比 (%)	出火件数 (件)	構成比 (%)
建物火災	316	52.0	318	51.0
林野火災	24	4.0	24	3.8
車両火災	56	9.2	60	9.6
船舶火災	0	0.0	0	0.0
その他の火災	211	34.8	222	35.6
計	607	100	624	100

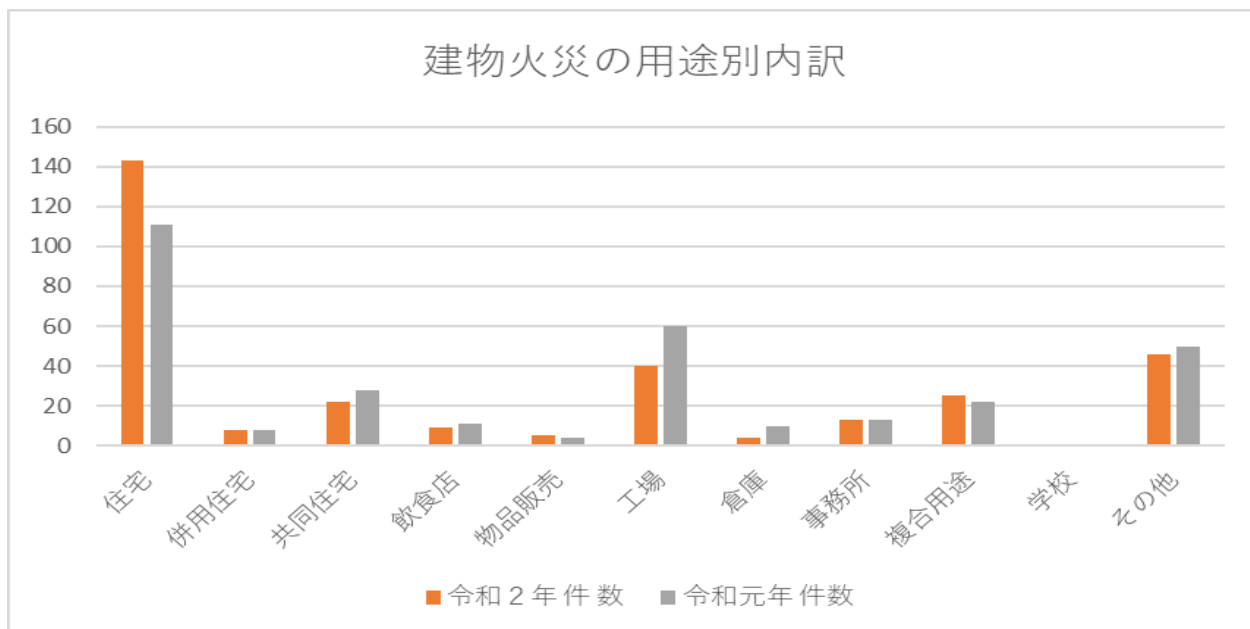
イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が143件（45.2%）、併用住宅が8件（2.5%）、共同住宅が22件（7.0%）発生しており、これらを合わせると54.8%となり、建物火災全体の約半数を占めている。件数順では次いで工場、複合用途（一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等）の順となっている。

（表2-4）

○ 表2-4 建物火災の用途別内訳 【単位：件・%】

区 分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
令和2年	件数	143	8	22	9	5	40	4	13	25	1	46	316
	構成比	45.2	2.5	7.0	2.8	1.6	12.7	1.3	4.1	7.9	0.3	14.6	100
令和元年	件数	111	8	28	11	4	60	10	13	22	1	50	318
	構成比	34.9	2.5	8.8	3.5	1.3	18.9	3.1	4.1	6.9	0.3	15.7	100



ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、4月～6月が189件（31.1%）と最も多く発生しており、次いで1月～3月179件（29.5%）、10月～12月141件（23.2%）、7月～9月98件（16.2%）の順となっている。

前年に比べると、1月～3月及び7月～9月の比率は減少しているが、4月～6月、10月～12月の比率は増加している。（表2-5）

○ 表2-5 季節別出火状況

区 分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合 計
令和2年	出火件数 (件)	179	189	98	141	607
	構成比 (%)	29.5	31.1	16.2	23.2	100
令和元年	出火件数 (件)	192	179	123	130	624
	構成比 (%)	30.8	28.7	19.7	20.8	100

(3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たき火による火災が56件(9.3%)で1位となっている。続いて、こんろ47件(7.8%)、たばこ43件(7.1%)、放火37件(6.1%)、火入れ36件(5.9%)の順となっている。

昨年と比べると、こんろが10件(27.0%)及び放火が11件(42.3%)増加している。(表2-6)

○ 表2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

【単位：件・%】

	令和2年(A)			令和元年(B)			増減	増減率
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比	(C)	(C/B)
							A-B	*100
たき火	1	56	9.3	1	61	9.8	△5	△8.2
こんろ	2	47	7.8	4	37	5.9	10	27.0
たばこ	3	43	7.1	3	40	6.4	3	7.5
放火	4	37	6.1	6	26	4.2	11	42.3
火入れ	5	36	5.9	2	44	7.1	△8	△18.2
電灯電話配線	6	28	4.6	8	20	3.2	8	40.0
放火の疑い	7	26	4.3	5	29	4.6	△3	△10.3
ストーブ	8	23	3.8	7	23	3.7	0	0.0
マッチ・ライター	9	16	2.6	11	10	1.6	6	60.0
焼却炉	10	13	2.1	10	11	1.8	2	18.2
配線器具	11	8	1.3	9	15	2.4	△7	△46.7
その他		215	35.4		230	36.8	△15	△6.5
不明(調査中を含む)		59	9.7		78	12.5	△19	△24.4
計		607	100		624	100	△17	△2.7

(4) 損害額

令和2年中の火災による損害額は、24億8,562万8千円で、前年に比べ13億4,880万5千円減少している。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の98.0%を占めている。次いで、車両火災(2.0%)、その他火災(0.0%)の順となっている。

火災種別ごとに1件あたりの損害額を前年と比べると、建物火災が65万3千円増加し、林野火災が1万1千円、車両火災が20万5千円、その他火災が7千円減少している。(表2-7)

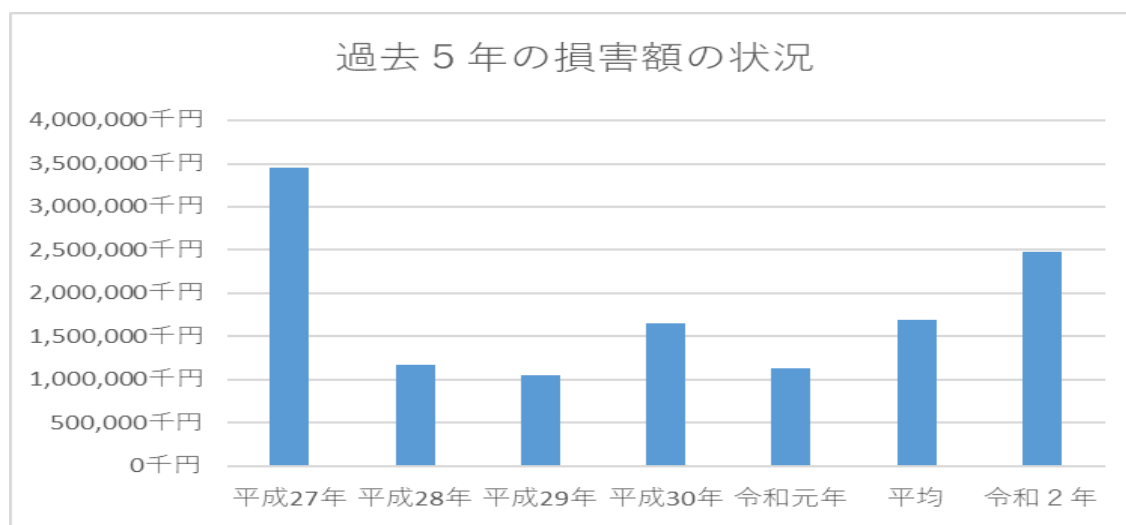
○ 表2-7 火災種別損害額【単位：千円・%】

	令和2年			令和元年			増減	
	損害額	1件	構成比	損害額	1件	構成比	1件	率
建物火災	2,433,446	4,009	98.0	1,067,121	3,356	93.9	653	19.5
林野火災	0	0	0.0	261	11	0	△11	△100.0
車両火災	40,292	720	2.0	55,520	925	4.9	△205	△22.2
その他火災	11,890	56	0.0	13,921	63	1.2	△7	△11.1
計	2,485,628		100	1,136,823		100		

次に、令和2年中の火災による損害額を過去5年間の平均損害額と比べると、林野火災、車両火災及びその他火災は平均を下回っており、建物火災、爆発及び総額は平均を上回っている。(表2-8)

○ 表2-8 過去5年間の損害額の状況【単位：千円】

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆 発	総 額
平成27年	3,372,573	92	41,996	36,238	259	3,451,158
平成28年	1,111,480	143	42,943	21,560	181	1,176,307
平成29年	1,009,575	73	29,981	9,474	702	1,049,805
平成30年	1,601,266	394	33,772	18,863	0	1,654,295
令和元年	1,067,121	261	55,520	13,921	0	1,136,823
平 均	1,632,403	193	40,842	20,011	228	1,693,678
令和2年	2,433,446	0	40,292	10,136	1,754	2,485,628



(5) 火災による死者及び負傷者

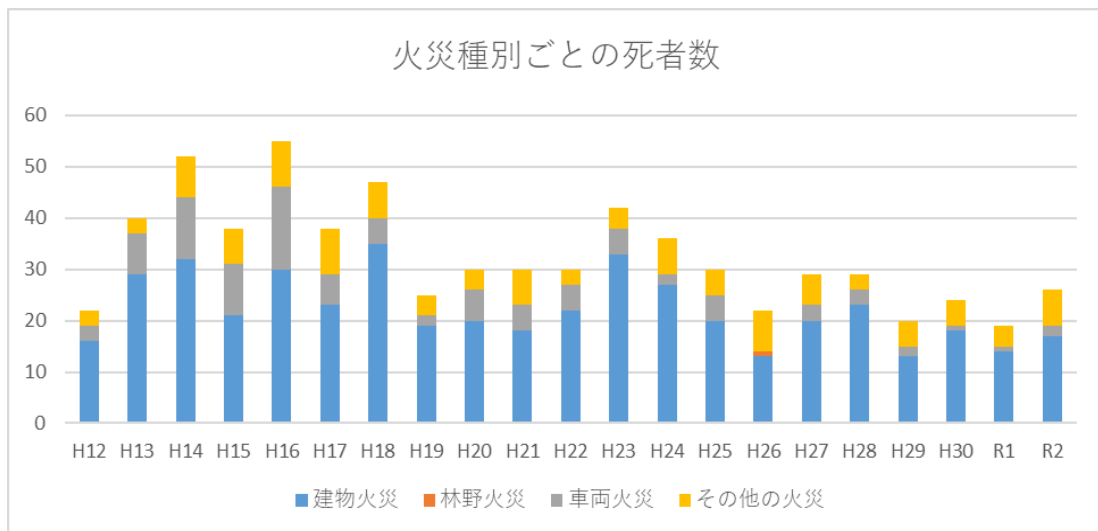
ア 火災種別ごとの死者数

令和2年中の火災による死者数は26人で、前年より7人(36.8%)増加している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが17人で、死者総数の65.4%を占めている。次いでその他火災7人(26.9%)、車両火災2人(7.7%)の順となっている。

過去20年の平均と比べると、その他火災及び合計が平均を上回った。(表2-9)

○ 表2-9 火災種別ごとの死者数

区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
建物火災	16	29	32	21	30	23	35	19	20	18	22
林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	3	8	12	10	16	6	5	2	6	5	5
その他の火災 (船舶火災含む)	3	3	8	7	9	9	7	4	4	7	3
計	22	40	52	38	55	38	47	25	30	30	30
区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2
建物火災	33	27	20	13	20	23	13	18	14	22.3	17
林野火災	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1	0
車両火災	5	2	5	0	3	3	2	1	1	5.0	2
その他の火災 (船舶火災含む)	4	7	5	8	6	3	5	5	4	5.6	7
計	42	36	30	22	29	29	20	24	19	32.9	26



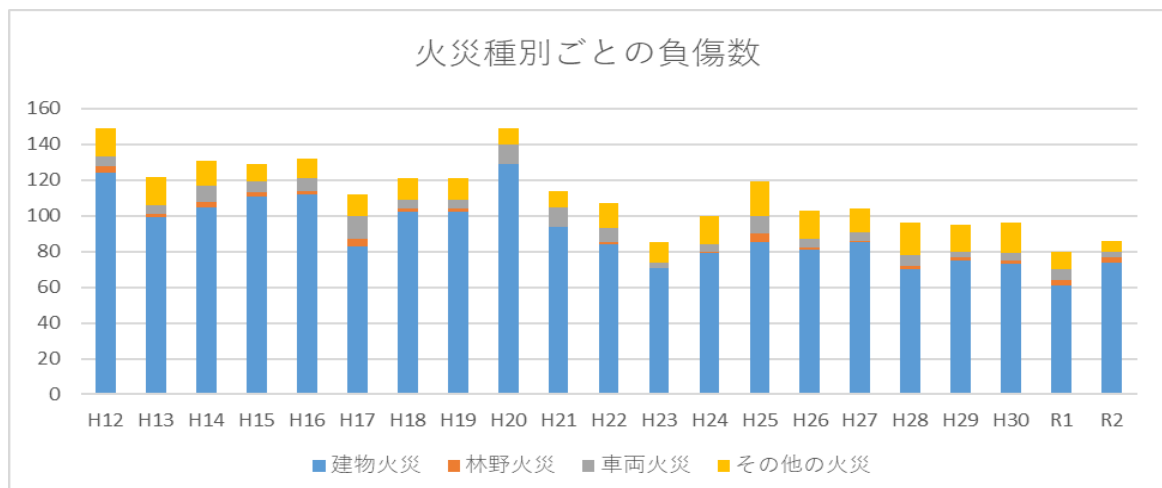
イ 火災種別ごとの負傷者

令和2年中の火災による負傷者は86人で前年に比べ6人(7.5%)増加している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが74人で、負傷者総数の86.0%を占めている。次いでその他火災6人(7.0%)、車両火災及び林野火災が3人(3.5%)の順となっている。

過去20年間の平均と比べると、林野火災が平均を上回った。(表2-10)

○ 表2-10 火災種別ごとの負傷者

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
建物火災	124	99	105	111	112	83	102	102	129	94	84
林野火災	4	2	3	2	2	4	2	2	0	0	1
車両火災	5	5	9	6	7	13	5	5	11	11	8
その他の火災 (船舶火災含む)	16	16	14	10	11	12	12	12	9	9	14
計	149	122	131	129	132	112	121	121	149	114	107
区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2
建物火災	71	79	85	81	85	70	75	73	61	91.25	74
林野火災	0	1	5	1	1	2	2	2	3	2.0	3
車両火災	3	4	10	5	5	6	3	4	6	6.6	3
その他の火災 (船舶火災含む)	11	16	19	16	13	18	15	17	10	13.5	6
計	85	100	119	103	104	96	95	96	80	113.2	86



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は放火自殺 8 人 (30.8%)、逃げ遅れ 6 人 (23.1%)、着衣自殺 2 人 (7.7%) の順となっている。(表 2-11)

○ 表 2-11 火災による死者の生じた原因【単位：人・%】

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2	構成比
逃 げ 遅 れ	8	10	4	6	9	7.4	6	23.1
出火後再進入	0	1	1	0	0	0.4	0	0
着 衣 着 火	4	1	4	2	0	2.2	2	7.7
放 火 自 殺	7	7	5	7	4	6	8	30.8
その他(不明・調査中)	10	10	6	9	6	8.2	10	38.4
計	29	29	20	24	19	24.2	26	100

エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65 歳以上が 17 人 (65.4%) と多く、次いで 6 歳から 64 歳が 9 人 (34.6%) の順となっている。(表 2-12)

○ 表 2-12 年齢別の死者数【単位：人・%】

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2	構成比
0 歳 ~ 5 歳	0	0	0	0	0	0	0	0.0
6 歳 ~ 64 歳	12	11	4	5	5	7.4	9	34.6
65 歳 以上	17	18	16	19	14	16.8	17	65.4
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	29	29	20	24	19	24.2	26	100

オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他(不明・調査中)を除き 6 歳から 64 歳、65 歳以上ともに放火自殺が最も多くなっている。(表 2-13)

○ 表 2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係【単位：人】

区 分	0 歳~5 歳	6 歳~64	65 歳以上	不明	計
逃 げ 遅 れ	0	2	2	0	4
出火後再進入	0	0	0	0	0
着 衣 着 火	0	0	1	0	1
放 火 自 殺	0	3	4	0	7
その他(不明・調査中)	0	4	10	0	14
計	0	9	17	0	26

カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、一酸化炭素中毒・窒息 3 人 (11.5%)、火傷 10 人 (38.6%)、自殺 7 人 (26.9%)、その他 1 人 (3.8%) となっている。(表 2-14)

○ 表 2-14 死因別の状況【単位：人・%】

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	6	11	2	4	5	5.6	3	11.5
火 傷	11	7	6	10	2	7.2	10	38.6
骨 折 ・ 打 撲 等	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自 殺	7	7	5	7	4	6	7	26.9
そ の 他	2	1	2	3	2	2	1	3.8
不 明	3	3	5	0	6	3.4	5	19.2
計	29	29	20	24	19	24.2	26	100

キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性 17 人（65.4%）、女性 9 人（34.6%）となっている。（表 2-15）

○ 表 2-15 火災による男女別状況【単位：人・（ ） 構成比％】

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
男性	19 (65.5)	20 (69.0)	15 (75.0)	9 (37.5)	12 (63.2)	17 (65.4)
女性	10 (34.5)	9 (31.0)	5 (25.0)	15 (62.5)	7 (62.8)	9 (34.6)
計	29	29	20	24	19	26

(6) 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移

令和 2 年の出火件数は 607 件で、過去 20 年間の平均出火件数 889 件と比較すると、282 件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災 316 件、林野火災 24 件、車両火災 56 件及びその他の火災 211 件となっている。（表 2-16）

○ 表 2-16 過去 20 年間の火災種別出火件数の推移と平均

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
建物火災	539	555	560	529	539	524	488	529	494	443	417
林野火災	46	63	49	27	48	46	30	49	34	54	35
車両火災	144	167	146	151	151	133	134	112	125	119	95
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	295	375	357	235	314	266	337	332	299	329	255
計	1024	1,160	1,112	942	1052	969	989	1022	952	945	802
区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平均	R2
建物火災	418	398	427	407	358	333	337	336	318	447	316
林野火災	34	21	49	33	17	21	27	33	24	37	24
車両火災	90	81	84	77	69	78	81	56	60	108	56
船舶火災	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他の火災	299	257	403	351	230	254	222	300	222	297	211
計	842	757	963	869	674	686	667	725	624	889	607

